

2022 TRAINING
政策研究大学院大学

医療政策 短期特別研修



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

医療政策短期特別研修

1 コースの趣旨・目的

未曾有の超高齢社会への対応はわが国喫緊の課題であり、医療はその重要な柱の1つです。その際には、狭義の医療に限定せず、保健・介護・福祉・住宅・就労などの関連領域、さらには“まちづくり”まで視野に入れた総合的・戦略的な政策展開を図る必要があります。またこの間の新型コロナウイルスへの対応においては、医療対策に通暁した優秀な人材の育成の必要性が浮き彫りになりました。本研修では、講演と演習を組み合わせながら、超高齢社会と医療問題の本質の把握、国の政策の変遷・理念・課題、具体的な政策展開の方法等につき体系的な研修を行います。また、地域医療構想の策定、地域包括ケアの推進、医療従事者の働き方改革や医師偏在対策など医療制度改革が矢継ぎ早に進められていますが、本研修ではこうした政策課題への対応についても講義します。なお、この研修は、厚生労働省及び総務省の協力の下に政策研究大学院大学と自治大学校が連携して実施するものであり、研修の講師は、医療政策を専門とする大学教授・研究者や第一線でご活躍の医療関係者のほか、中央官庁の幹部職員が務めます。

2 研修の対象者

地方自治体の職員の方、及びシンクタンクや医療関係団体等の職員の方を対象とします。地方自治体の場合、現職が医療関連部門であるかどうかは問いません。年齢・役職に関わらず、旺盛な学習意欲とディスカッション等への積極的な参加意欲のある方を歓迎します。

3 研修の内容・進め方

本研修は、医療政策のポイントを押さえた講義と、事例演習、グループ討議などの演習を組み合わせ、短期間で高度な医療政策の企画立案能力を修得できるよう、体系的なカリキュラムを用意しています。なお、本研修は、研修生の自己研鑽や問題発見能力の向上も重視していますので、研修生には研修開始前に一定の予習（自治体の医療計画や参考図書を読むこと等）をしていただくほか、研修開始時に問題意識の紹介、最終日に研修成果の発表を行っていただきます。

予習および問題意識の発表

講義

医療政策の企画立案に必要な課目を用意した体系的なカリキュラム

- 総論 ① 医療政策概論
- ② 人口推計の手法、老年学からみた高齢者の特性
- ③ 地域医療構想、医師確保、医療費適正化等の計画・政策論
- 各論 ④ レセプトやDPCデータを用いた地域医療の分析・活用方法
- ⑤ 地域毎の医療供給のあり方、公立病院改革等政策展開の方法・実践論等



医療政策の企画・立案能力の向上

演習

- ① 事例演習…………… 具体的な問題事例を通じ、原因の分析、政策課題の抽出、解決方策の企画立案
- ② テーマ別グループ討議…………… 受講生の関心事項等を踏まえテーマを設定し、グループ討議
- ③ 個別発表…………… 研修当初に受講生が問題意識を紹介
研修の最後に受講生が研修成果をプレゼンテーション



研修成果発表

■2021年度医療政策短期特別研修時間割（講師一覧はホームページをご覧ください。）

日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	3限 (13:10-14:30)	4限 (14:40-16:00)	5限 (16:10-17:30)
9/6 月	ガイダンス、自己紹介	日本の新型コロナウイルス対策	医療政策概論 日本の医療政策の変遷		
9/7 火	医療政策概論 日本の医療政策の変遷				医療に関する各種調査データ
9/8 水	老年学から見た高齢者の特性	人口推計の手法	国民健康保険をめぐる動向	介護報酬制度と介護医療院	高齢社会における住宅政策
9/9 木	医師確保と関連する諸課題 －医師需給や働き方改革も絡めて－	診療報酬制度と政策	事例演習①	日本の介護保険の特徴と課題	事例演習②
9/10 金	高齢者医療制度の現状と課題	地域医療提供体制と医療計画論	医療費適正化計画、データヘルス	介護保険制度と介護保険事業計画	全日本病院協会の医療政策ビジョンと自治体への期待
9/11 土 9/12 日					
9/13 月		グループ討議(都道府県と市町村)		公立病院改革と地域医療の方向	北海道の医療・介護体制の現状と課題
9/14 火	疾病予防・重症化予防と医療費適正化・データヘルス計画	現場での疾病予防活動について	病院の看護の役割	補講	疾病構造・医療資源(医師数等)の将来推計方法/DPCおよびレセプトデータの活用方法
9/15 水	看護政策・訪問看護	補講	オープンデータを用いた地域把握の実際		介護保険制度と高齢者医療制度の創設時の回顧と展望
9/16 木	飯伊地区包括医療協議会の取組	新公立病院改革について	宮崎県の周産期医療システム	振り返りセッション	
9/17 金	感染症対策の実践と課題	専門分野としてのプライマリ・ケアの在り方	修了生報告会・個別発表・修了式		

※この他、毎日1・2回、研修生間での振り返りの時間あり。



★ Photo by Nishikawa Masao

研修生の声

広島県健康福祉局
新型コロナウイルス感染症
対策担当 高橋 淳子



「点と点が線、面へ。そして奥行きをつける繋がりができました。」—研修で味わった高揚感は、今も私の中に残存しています。

この1年半、業務上登場する様々な医療制度を十分に理解せず、目の前のコロナ対応に追われてきました。

研修では、各医療制度の歴史的背景や方向性を学ぶとともに、繋がりがなく見えた各制度が相互に影響し合っていることを知りました。そのことを知ってから講義や自治体等の取組紹介(コロナ含む)は、日々の業務にどう取り入れるか思考の連続でした。また、職種の異なる受講生との交流により、広い視野を養えました。

今、研修前より業務をしやすくなったと感じるのは、理解度の向上はもちろん、各業務の結びつきを考える意識が醸成されたからだと思います。また、研修でできた受講生同士の横の繋がりが、今後の業務に奥行きをつけてくれるものと確信しています。今回の学びを県の医療政策等に活かせるよう、邁進してまいります。

小松市役所予防先進部
長寿介護課
主幹(保健師) 角地 孝洋



中規模自治体の介護領域で在宅医療・介護連携推進事業を担当する自分にとって、これまであまり関わりのなかった医療政策に対して苦手意識があり、この研修に参加しました。

研修では、医療政策の現在のみならず、過去からの経緯や、2040年を見据えた将来への方向性、残されている課題等について連続性をもって学ぶとともに、COVID-19のような最新トピックスや保健・介護、人口・住宅問題等の多様なテーマについても学ぶことができました。講義単体では咀嚼しきれなかったものが、最終的には一体的なものとして理解できるようになったのは、この研修の講師陣や組み立ての素晴らしさや、多様な職場から参加していた受講者とのディスカッションのおかげだと思います。

この研修を受け、市町村も医療政策に積極的に参画していくことが大切だと感じました。次期の介護保険事業計画は医療計画との同時改定でもあり、県とも積極的に連携していきたいです。

株式会社メディヴァ
長島 花奈



医療政策短期特別研修では、政策をつくれる側と現場で実践される側、双方の講師陣から学ぶことができました。2週間という限られた時間ではありましたが、研修が進むにつれ、これまでパラバラに見えていた各政策の繋がりが、問題の本質が見えてきました。何より、研修を終えた時に、これまで業務で扱っていた内容を一段深く捉えられるようになっていっていると実感しました。

今年度は全面オンラインでの開催ということで、当初は不安もありましたが、研修中のグループワークだけでなく、オンライン上での「居残り意見交換会」などを通じて、自治体や関係団体など多様なバックグラウンドを持つ受講者の方々と有意義な議論ができました。研修後も続く繋がりを持てたことは非常に貴重な経験だったと感じています。

今回の経験を活かし、今後はより多面的な視点を持って業務を行っていきたいと思います。

募集要項

- 研修実施期間 2022年7月27日(木)～8月10日(水)(※土曜日に講義を行う可能性あり。)
- 研修場所 政策研究大学院大学での集合研修とオンラインを併用する予定です。
※諸状況によっては全面オンラインの可能性もあります。
- 定員 30名
- 出願期間 2022年3月22日(火)～5月13日(金)
- 選考結果連絡 2022年5月31日(火)頃
- 受講費用 100,000円(税込)(予定)(※別途、指定図書の購入時の費用負担あり。)
- 出願方法 所定の申請書類のほかに、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
HPでもご覧いただけます。(http://www3.grips.ac.jp/~healthcarepolicy/)
- 問い合わせ先 政策研究大学院大学 医療政策コース
[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] iryou-seisaku@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES